

九条北小学校 校長室だより

NO.61 令和2年10月5日



今週10月8日(木)・9日(金)は、6年生の修学旅行です。新型コロナウイルス感染症対策をしながらの修学旅行ですが、小学校生活最後の1年間の中でも、思い出に残る大きな行事です。安全に配慮しながらも、楽しい修学旅行にしたいと思います。

★ 4年生へ「エコバッグ」が贈られます! ★

9月24日、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンとコカ・コーラ社が共同で海洋プラスチックなど環境問題への理解を呼びかけるイベントを開催しました。USJでは年間800万本以上のペットボトルが回収されていて、イベントではごみの分別やリサイクルの必要性を呼び掛けるとともに、USJ内で回収されたペットボトルで作ったエコバッグが披露されました。そのエコバッグは大阪市内の小学生にプレゼントということで、松井大阪市長に手渡されました。「地球の環境を守ることがいかに大事か、子どもたちも関心をもってもらうことに期待」と、環境学習のリーフレットとともに、4年生児童全員に配布できるようにと、九条北小学校にも送られてくると連絡がありました。4年生には、学習をした上で、配布します。



★ ～ 児童朝会「ことばの力」～ ★

今日の児童朝会では、「ことばの力」について話をしました。
人が話す言葉は、使い方によって聴く人を幸せな気持ちにしたり、悲しませたいします。ほめられる言葉をかけられると嬉しい気持ちになるし、悪口を言われると悲しい気持ちになります。ことばは人の心を動かすすごい「力」を持っています。

今から話をすることは、有名な実話です。

随分前ですが、大阪のある小学校で、ある実験をしました。教室で2つの鉢を使ってアサガオを育てることにしました。毎日ひとつの鉢のアサガオにはほめ言葉や励ましの言葉をかけ、もう1つの鉢のアサガオにはかわいそうですが悪口や傷つける言葉をかけたのです。どうなったと思いますか?



1か月後、ほめられた続けた鉢のアサガオはすくすくと伸び、葉も青々としてきました。一方悪口を言われ続けた鉢のアサガオは元気がなく、双葉からなかなか本葉が出てきません。

そして、2か月後二つのアサガオはどうなったでしょう。ほめられ続けたアサガオは毎日たくさんの花を咲かせ続けました。そして、悪口を言われ続けたアサガオは何と枯れてしまいました。つまり、言葉の暴力によってアサガオは枯れてしまったのです。これは本当の話です。

みなさん、友だちやおうちの人に「傷つけるような言葉」使っていませんか? 友だちを「励ます いい言葉」を使っていますか? 振り返ってみてください。

「言葉」には、大きな力があります。 **九条北小学校のみなさんには、友だちを「励ます言葉」をいっぱい使ってほしいです。**